



ヘモグロビンA1c測定における 新規HbA1c値の日常検査での取扱 (Ver.2.0:2010-06-30)

日本臨床化学会 糖尿病関連指標専門委員会

武井 泉¹, 桑 克彦², 梅本雅夫³, 岡橋美貴子⁴, 石橋みどり⁵, 宮下徹夫⁶,
佐藤麻子⁷, 戸塚 実⁸, 雨宮 伸⁹, 渥美義仁¹⁰, 永峰康孝¹¹, 星野忠夫⁴

¹東京歯科大学市川総合病院内科, ²(独)産業技術総合研究所計測標準研究部門,

³(社)検査医学標準物質機構, ⁴病態解析研究所, ⁵慶應義塾大学医学部中央臨床検査部,

⁶日本大学医学部附属板橋病院臨床検査部, ⁷東京女子医科大学臨床検査科・糖尿病センター内科,

⁸東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科, ⁹埼玉医科大学小児科, ¹⁰東京都済生会中央病院内科,

¹¹徳島大学病院診療支援部

Instruction manual of new HbA1c number implemented by the Japan Diabetes Society for hemoglobin A1c measurement performed routinely in laboratories

Committee on Diabetes Mellitus Indices, Japan Society of Clinical Chemistry (Chair: Izumi Takei)

Izumi Takei¹, Katsuhiko Kuwa², Masao Umemoto³, Mikiko Okahashi⁴, Midori Ishibashi⁵,

Tetsuo Miyashita⁶, Asako Sato⁷, Minoru Tozuka⁸, Shin Amemiya⁹, Yoshihito Atsumi¹⁰,

Yasunori Nagamine¹¹, Tadao Hoshino⁴

Key words : ヘモグロビンA1c, IFCC値, JDS値, HbA1c値

1. はじめに

ヘモグロビン A1c 測定における報告値 (JDS 値および IFCC 値) の取扱については, すでに報告されているとおりである¹⁻³⁾。

日本糖尿病学会 (JDS) は, 2009 年 11 月 1 日開催の「糖尿病の診断基準とヘモグロビン A1c の国際標準化に関するシンポジウム」において, ヘモグロビン A1c 測定の報告値に関して, 現状で国内の日常診療および臨床評価に用いている JDS 値による臨床報告が, 国際評価に直接結びつかないことへの対応を考慮し, 当面の

国際的な臨床評価への整合性を図ることとなった。さらにこのシンポジウムを受けて, JDS の糖尿病関連検査の標準化に関する委員会が, 2009 年 11 月 18 日および 2010 年 2 月 21 日に開催され, 具体的な対応についての協議が行われた。その結果, 新たな報告値についての技術的な内容については, 日本臨床化学会糖尿病関連指標専門委員会の方でまとめることとなった。また, このヘモグロビン A1c の報告に関する新規 HbA1c 値の導入を含めた新診断基準については, 2010 年 5 月 26 日に開催の日本糖尿病学会評議員会において承認された。